

こうちこどもファンド事業成果報告書(子ども用)

※この報告書は子どもたちが自分の言葉で書いてください。

令和 6 年 2 月 29 日

1 団体の名前

ふりがな	きゅうじゅうなちゆるるちーむ
団体の名前	久重naturalチーム

2 活動のテーマ

久重の里山の魅力 再発見プロジェクト! ②
～SDGsで持続可能なまちづくり～

3 活動の内容

① 活動の時期	② 活動の内容
6/3	里山歩きとホテルの夕べin久重
7/2	防災 イベント事前学習 (災害用 マンホールトイレ設置)
7/23	久重里山まつり (ゴミの分別ボランティア)
8月	9月の「秋の七草観察会」チラシ作成、地域500世帯へ配布
9/3	「秋の七草観察会」
10/8	防災イベント事前学習 (お菓子 ポーチ練習)
10/29	「こくさいぼうさいいらっさ〜い」参加 (段ボールベッド作り)
11/5	久重豊穰祭 (久重naturalチーム活動紹介発表)
11/12	里山ウオーク参加 災害時 市街地から山に帰ろう
11/25	バッククッキング
12/3	「こうち子ども未来ビレッジ」参加で寄付を身近に感じるイベント参加
12/10	「こうち環境フェア」参加で団体活動紹介と、環境に関わる他団体との交流
12/17	久重小学校区防災イベントで小学生に中高生が授業をする
1/6	春の七草フェスタ準備 七草採取
1/7	「春の七草フェスタ」参加 七草がゆ調理、里山ピザ作り、簡易トイレ説明
1/28	防災ロープワーク
1月	2月の「タンポポ調査の予備調査」チラシ作成、地域500世帯へ配布
2/4	「タンポポ調査の予備調査」
2月	活動のまとめと「久重の里山パンフレット」成果物作成

●久重小学校区防災イベント実行委員会に参加
●久重地域の役員会などに参加
●他団体のイベントに参加のため、打ち合わせ会に出席
●新聞、雑誌等の取材対応、ラジオ番組出演

4 まちづくりの効果

活動後の感想と、自分たちが活動して、まちがどんなふうによくなったと思うか書いてください。

<感想>今年防災に関する活動をメインで行いました。災害時に備えるお菓子作りやマンホールトイレ、段ボールベッドの設営を練習し、12月に行われた久重小学校区防災イベントにて私たち中高校生が小学生に教えました。また、防災イベントでバックッキングにも挑戦しました。1月に開催された七草フェスタでは、簡易トイレの使い方を来場された方たちに説明しました。実際に使ってみる事で非常時に使うときに戸惑うことなく使用できるため、とてもいい経験になったと思います。そして非常時にも役立つキーホルダー作りも行いました。耐久性のあるパラコードというロープでキーホルダーを作り、必要な時に簡単にほどこことができます。ほどこと長さはありますが、編んでキーホルダーにすると小さくかつおしゃれに持ち運ぶことができるので便利です。また、今年度は細川公子先生にも久重にきていただき、秋の七草観察会やタンポポ調査の予備調査も行いました。七草と言えば春の七草を思い浮かべますが、久重には秋の七草も自生していることがわかり、自分の目で見て触れることができました。

<まちが良くなったと思うこと>防災について多くのことを学ぶ年だったのでまち全体の防災意識が高まったと思います。将来南海トラフ巨大地震が起こった時などに久重地域で協力して避難所を運営できそうだなと感じました。そして今年度立ち上がった「久重youth」としても活動することで、里山まつりや豊穰祭、七草フェスタのお手伝いを通して地域の方々と交流し今まで以上に地域の大人の人と関わりを増やすことができました。地域の方と顔見知りになることで、災害時に協力しやすくなると思います。

5 気づきポイント

活動を通して気づいたことや工夫したこと、反省点などがあれば書いてください。

<活動前にたてた目標や計画通りにできなかったところ>

- ①久重小学校区防災イベント
- ②星空観察会

<なんでできなかったのか、何につまづいたのか>

- ①久重小学校区防災イベントは10月開催予定でしたが、補欠選挙により日程が12月に変更されました。
- ②星空観察会を一回は開催する予定でしたが、防災イベントの準備やさまざまなイベントに参加をする機会が多く、星空観察会に地域内外の方にご案内することができませんでした。

<つまづいたとき、活動を進めていくためにどんな工夫をしたか、または、どうすればよかったと思うか>

- ①今回のように、日程が急に変更しても対応できるように余裕を持って取り組んでいきたいです。
- ②星空観察会は地域の方々と交流できる貴重な機会の為、できなかったのがとても悔しいです。なので来年度はあらかじめ日程をきちんと計画し、星空観察会を絶対に行います！

6 今後の展望など

今後自分たちの活動をどのように続けていきたいかなど、自由に書いてください。

来年はいよいよ3年計画の最後の年です。

1. 初心に戻って、野草の調理をたくさんしたいです。火起こし体験も予定しています。
2. ハーフを使った石鹸づくりを熊本大学渡邊教授から教わり久重の野草の魅力を再発見します。
3. 春の七草フェスタで使う食材(カブやダイコン)を畑で育てて使いたいです。
4. 久重の希少植物を土佐植物研究会の細川公子先生にお習いし、研究をしたいと思っています。
5. 星空観察会を行います。
6. 久重の歴史を学びます。久礼野城跡を訪ねたいと思っています。
7. 災害時に土砂崩れで道路が通れなくなった時に街から帰還する古道の復活整備をしたいです。
8. 地域の人と交流できる防災活動を引き続き行っていきます。
9. 地域の話し合いに参画してこどもの意見をまちづくりに取り入れたいです。
10. 里山祭りや豊穰祭などイベント行事に積極的に参加します。

久重のまちづくり計画書を参考にしながらみんなで話し合って計画を立てていきたいです。

かつどう ようす え しゃしん しょうかい
 7活動の様子がわかる絵や写真があれば紹介してください♪



春の七草採取



春の七草フェスタ料理



簡易トイレの使い方紹介



秋の七草観察会



久重小学校区防災イベント(1,2年生/お菓子ポーチ、3,4年生/段ボールベッド、5,6年生/マンホールトイレ)



パッククッキングに挑戦



パラコードでキーホルダー



地域のイベントの会や役員会に参加して報告発表をしました。



里山まつりでSDG'sのゴミ分別発信、SDG'sの〇×クイズをしました。

久重豊稜祭でお餅つきの手伝い、naturalチームデザインのシールを添付、餅を投げる、活動紹介をしました。



団体名 久重naturalチーム

令和5年度決算報告書

	収入の内容	予算額	決算額	内訳(単価・人数など)
収入	ファンド助成金	175,000 円	169,663 円	
			円	
			円	
	合計	175,000 円	169,663 円	

	支出の内訳	予算額	決算額	内訳(品名・単価・個数など)
支出	①お菓子ポーチ試作	13,000 円	6,098 円	小袋4連のお菓子3,348(2,376+972)円 マスキングテープ、両面テープ、マジックテープ2,750(770+550+1,430)円
	②パッククッキング体験	16,000 円	11,364 円	食材・容器5,084(235+2,210+863+990+786)円、会場費6,280円
	③防災ロープワーク体験	6,000 円	7,066 円	ロープワーク用パラコード2,776(1,849+927)円 ナスカン4,290(3,190+1,100)円
	④春の七草フェスタ食材	10,000 円	11,511 円	食材11,115円、ピザをのせる紙396円
	⑤チラシ、成果物	55,000 円	69,708 円	カラーコピー330円、「秋の七草」チラシ2,683円、「タンポポ調査」チラシ3,138円 成果物印刷代63,557(34,858+28,699)円
	⑥講師謝礼金	38,000 円	38,000 円	3,000円×6人分=18,000円 5,000円×4人分=20,000円
	⑦団体保険	16,000 円	7,423 円	「秋の七草」2,639円、 「七草採取」2,392円、 「タンポポ調査」2,392円
	⑧消耗品、予備費	21,000 円	18,493 円	ネームランドテープ1,024円、救急用具3,405(2361+1,044)円、 インク5,712円、用紙マジックマーカー1,972円、ゴム手袋1,100円、 模造紙330(110+220)円、たわしスポンジ346円、安全ピン396円、 ガムテープノートスケッチブック550円、チャックマンのり696円、 セロテープ440円、飲料水塩分チャージ1,432(1,037+395)円、 看板作成用絵の具910円、成果物送料180円
		円	円	
		円	円	
		円	円	
	合計	175,000 円	169,663 円	